

産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月 28日

福山市長 様

提出者

住所 福山市柳津町三丁目2番6号

氏名 広島トクヤマ生コン株式会社  
福山工場

代表取締役社長 藤川和哉

電話番号 084-934-0024

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	広島トクヤマ生コン株式会社 福山工場
事業場の所在地	広島県福山市柳津町三丁目2番6号
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 <b>別紙 1, 2 のとおり</b>	
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 <b>別紙 1, 2 のとおり</b>			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 <b>別紙 1, 2 のとおり</b>	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	<b>【目標】</b>	<b>別紙1, 2のとおり</b>	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成 29年度)実績量

計画：今年度(平成 30年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1130	1100	390	400						
鋳さい										
がれき類										
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
合計	1130		390		0		0		0	

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1050	1000								
鋳さい										
がれき類										
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
合計	1050		0		0		0		0	



## 別紙 2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

### 1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	窯業・土石製造業
②事業の規模	資本金 9億円
③従業員数	8名(アルバイト2名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	図4参照

### 2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

### 3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 戻りコンクリート処理の有料化による発生低減の促進 品質管理の徹底による仕損コンクリートの発生低減
②計画	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みの継続

### 4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 戻りコンクリートを全て固化処理し、コンクリートくずへ一元化
②計画	(今後，分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組みの継続

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) コンクリートくずを養生・破碎し、グループ工場による再生骨材の製造 破碎機の性能向上
②計画	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みの継続と効率化

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) —
②計画	(今後実施する予定の取組) —

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) —
②計画	(今後実施する予定の取組) —

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用するコンクリートくずの量を拡大し、処理の委託量を縮小
②計画	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みの継続

## 別紙 3

### 1. 会社の概要

- (1) 会社名 広島トクヤマ生コン株式会社 福山工場
- (2) 資本金 9億円
- (3) 従業員数 8人

### 2. 当該事業場において現に行っている事業の概要

- (1) 従業員数 8人
- (2) 製造品出荷額 2.6億円/年
- (3) 製造概要 生コンクリートの製造販売  
平成29年度製造実績 16,750m<sup>3</sup>
- (4) 製造工程図 図1参照
- (5) 工場配置図 図2参照
- (6) 事業展望 公共工事、民間工事ともに本年度大型物件が見込まれず、前年度同様であると予想される。
- (7) 廃棄物処理工程図 図4参照
- (8) 連絡先 担当者 平賀導治  
電話番号 084-934-0024

### 3. 計画期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

### 4. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

- (1) 責任者及び管理組織図
  - ① 統括責任者 平賀導治
  - ② 廃棄物担当 村上芳寿
  - ③ 役割

品質管理委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－専務取締役 ・委員－各担当者 ・事務局－試験係
廃棄物処理総括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
廃棄物管理担当者	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○廃棄物削減実施報告の作成 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○従業員、関連会社に対する教育・啓発

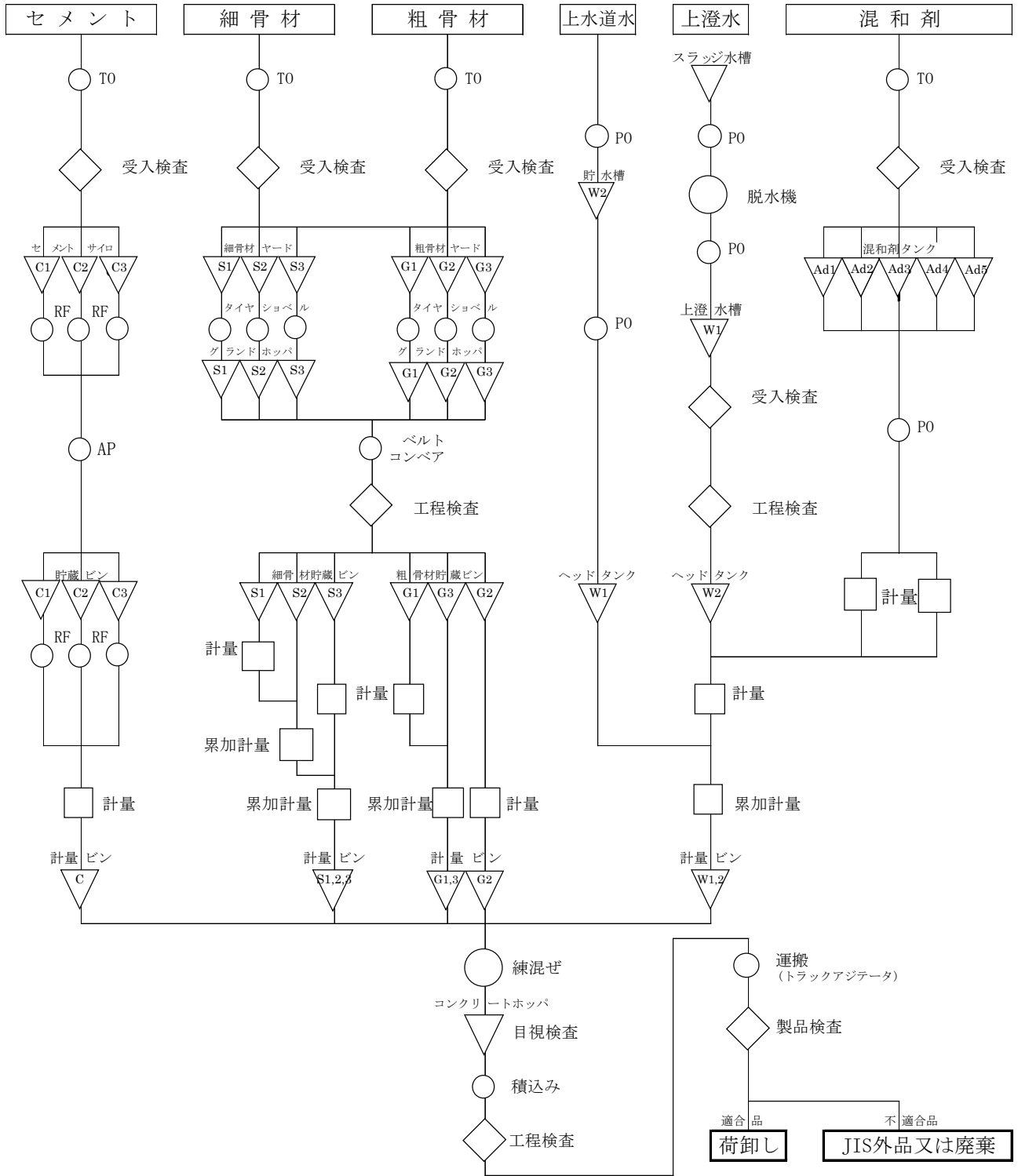


図1 製造工程図

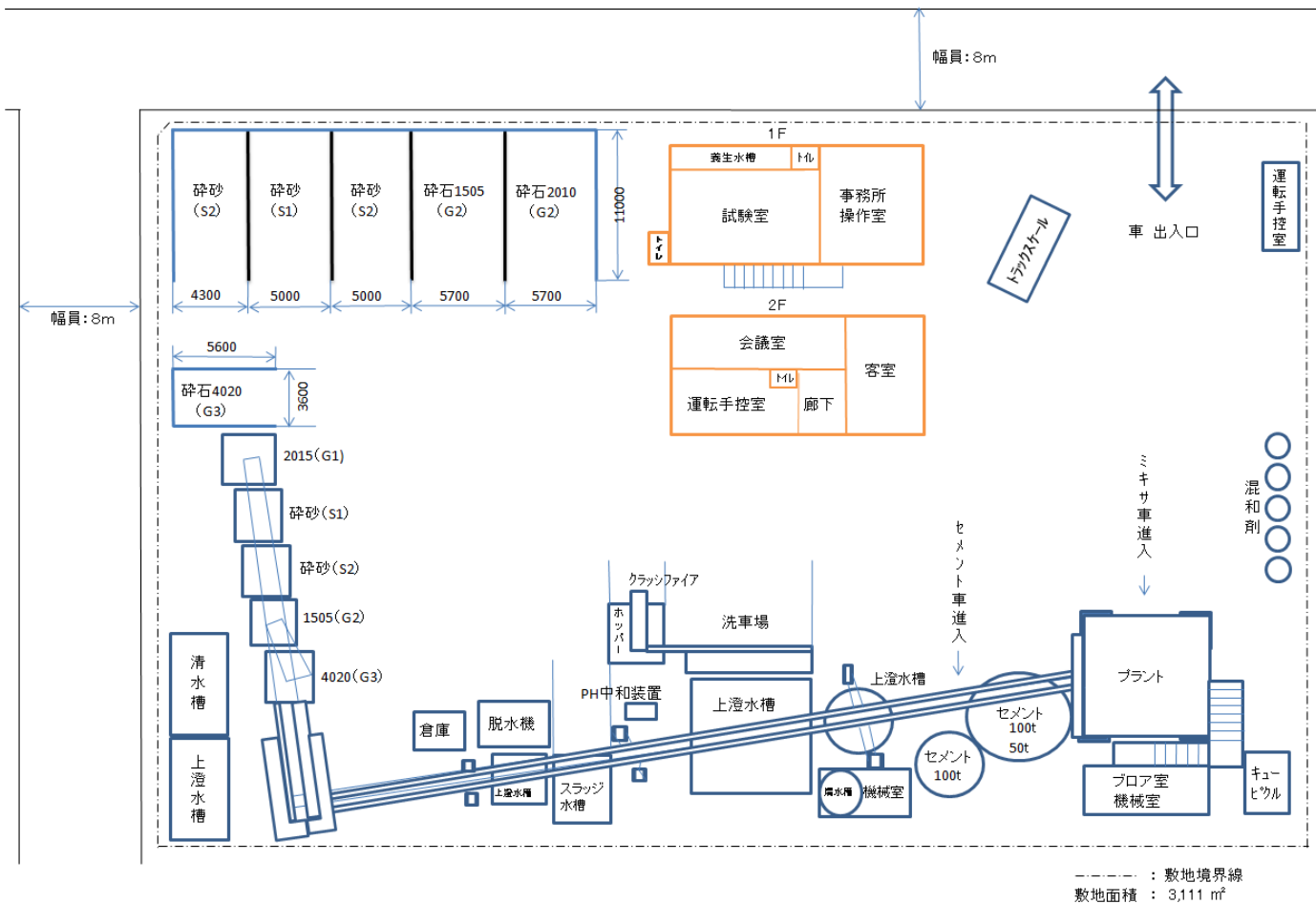


図2 工場配置図

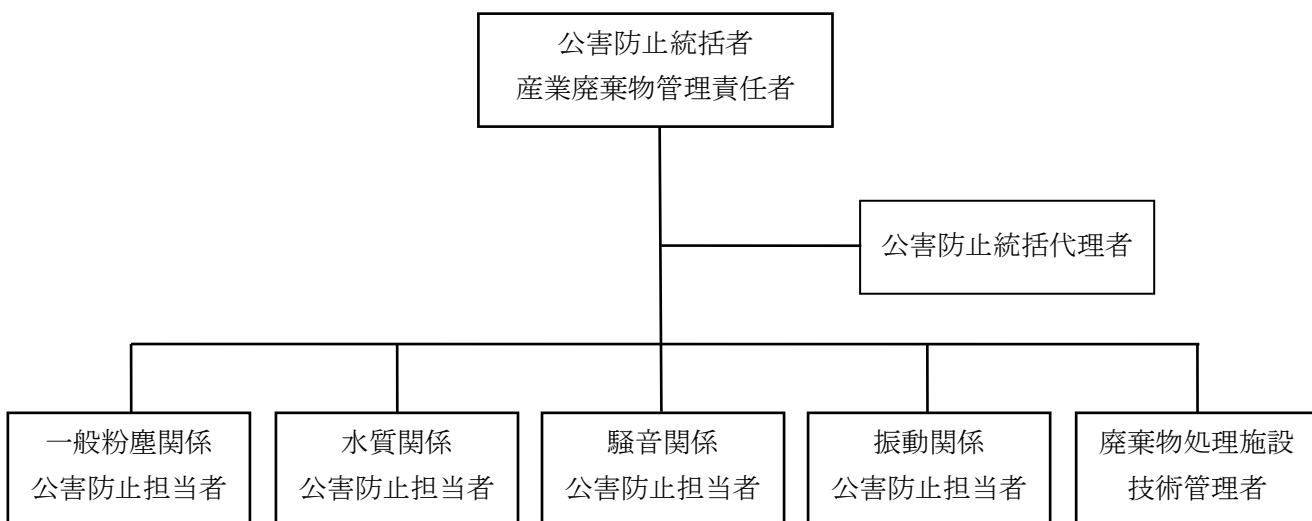


図3 管理体制図

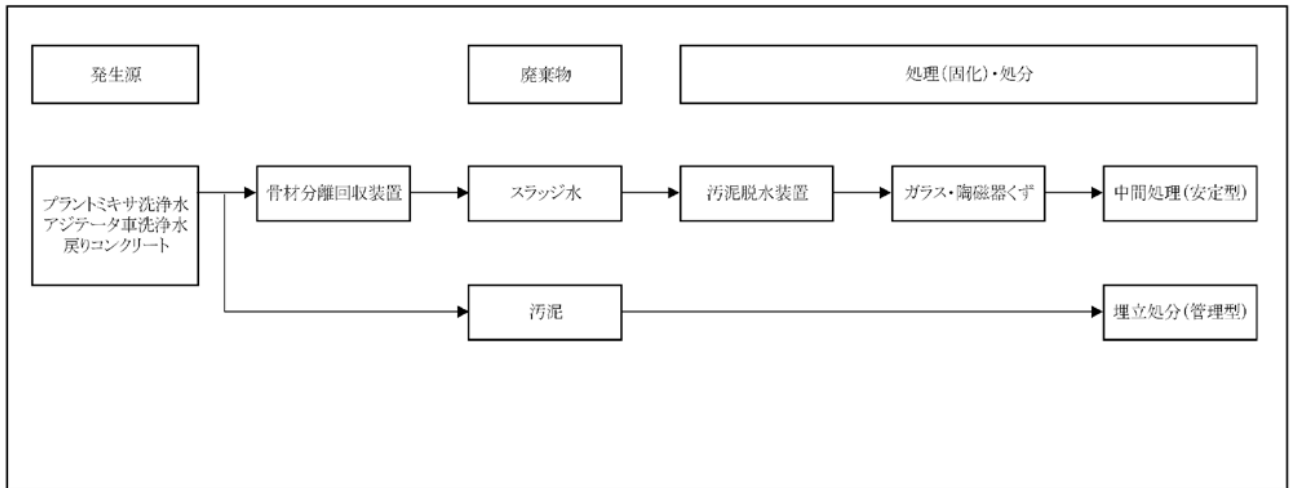


図4 廃棄物処理工程図